



平成 30 年 5 月 10 日

各 位

会 社 名 燦ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 野呂 裕一
 (コード番号 9628 東証第一部)
 問合せ先 常務執行役員(IR担当) 鈴江 敏一
 (TEL 06 - 6226 - 0038)

中期経営計画の数値目標の修正に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 4 月 6 日付で公表しました「グループ中期経営計画(2016 年度～2018 年度)」について、経営環境の変化や過去 2 年間の実績等をふまえ、最終年度の数値目標を以下のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 31 年 3 月期(2018 年度)数値目標の修正

	前回発表目標	今回修正目標
(1)グループの新規会館出店数 (2016 年度～2018 年度累計)	17 会館	12 会館 (出店済 7 会館、2018 年度の出店 予定 5 会館)
(2)新規事業の営業収益 (2018 年度)	4.2 億円	1.3 億円 (内訳:ラーメン店事業 1.1 億円、 介護事業 0.2 億円)
(3)営業収益(2018 年度)	202 億円	201 億円
(4)経常利益(2018 年度)	19.4 億円	23.0 億円

2. 修正の理由

グループの新規会館出店数(2016 年度～2018 年度累計)の修正理由は、主に首都圏、関西圏での候補物件決定の遅れによるものです。

また、新規事業の営業収益につきましては、当初、直営のラーメン店の多店舗展開を前提としていましたが、店舗物件や人材の確保における困難等により、現状 2 店舗の運営にとどまることによる修正です。(2018 年度は、3 店舗目の出店を予定。)

なお、ラーメン店事業とは別に、フランチャイズチェーンへの加盟により介護事業(リハビリ特化型デイサービス事業)を開始し、2018 年 1 月に第 1 号施設を開設、運営しております。2018 年度上期中には第 2 号施設を開設する予定です。

以上の修正にもかかわらず、グループの葬儀事業の業績が当初計画より伸長しているため、営業収益については当初計画からの減収額は軽微にとどまり、経常利益は逆に、当初計画比増益となる見込みです。(修正後の営業収益、経常利益の数値は、本日公表の「平成 30 年 3 月期 決算短信」における「平成 31 年 3 月期の連結業績予想」の通期予想数値と一致します。)

(ご参考) 中期経営計画期間の計画・実績推移

(単位: 億円、%)

	2016年度(H29年3月期)		2017年度(H30年3月期)		2018年度(H31年3月期)	
	計画	実績	計画	実績	計画	今回修正
営業収益	188.0	186.7	194.0	200.7	202.0	201.0
(<small>好新規事業</small>)	(0.2)	(0.2)	(1.8)	(0.5)	(4.2)	(1.3)
経常利益	17.2	20.6	17.7	26.5	19.4	23.0
経常利益率	9.1%	11.1%	9.1%	13.2%	9.6%	11.4%

以上